

下肢静脈瘤とは

下肢静脈瘤の症状

・表在静脈の弁不全・異常による逆流現象



立位(重力)

バケツに水がたまって
立たされているような状態

症状

- ・だるさ
- ・かゆみ
- ・浮腫
- ・こむら返り
- ・皮膚症状
- ・痛み

- ✓ 命を脅かす病気ではない
- ✓ 日常生活に支障をきたす

下肢静脈瘤の皮膚症状

・表在静脈の弁不全・異常による逆流現象



進行

弾性ストッキング・包帯

手術が推奨

治療

➤ 圧迫療法

・弾性ストッキング/包帯



☆利点

着用のみで治療効果がある

☆欠点

治療の継続が不可欠

着用が大変

根本的な治療ではない

治療

➤ 外科的手術



- ・静脈瘤 抜去手術 (ストリッピング手術)

現在はほとんど行われていない

- ・血管内焼灼術 (レーザー/ラジオ波)

カテーテル治療 現在の主流

- ・血管内塞栓術 (グルー治療)

カテーテル治療 最新の治療

深部静脈血栓症とは
(別名 : エコノミークラス症候群)

深部静脈血栓症について

(エコノミークラス症候群)

<定義>

・深部静脈(深在筋膜より深い静脈)に生じた血栓症

・血栓が心臓→肺(肺動脈)に飛ぶことにより致命的となる

下肢静脈瘤とは違い、非常に怖い病気

深部静脈血栓症の症状

-下肢の症状-

- ・突然の痛み/圧痛
- ・下肢の腫脹
- ・熱感
- ・有痛性青股腫

- ・慢性的には浮腫や皮膚炎

(基本的には片方のみ)



-肺塞栓症を伴えば-

- ・呼吸苦
- ・不安定な循環動態(場合により心肺停止)

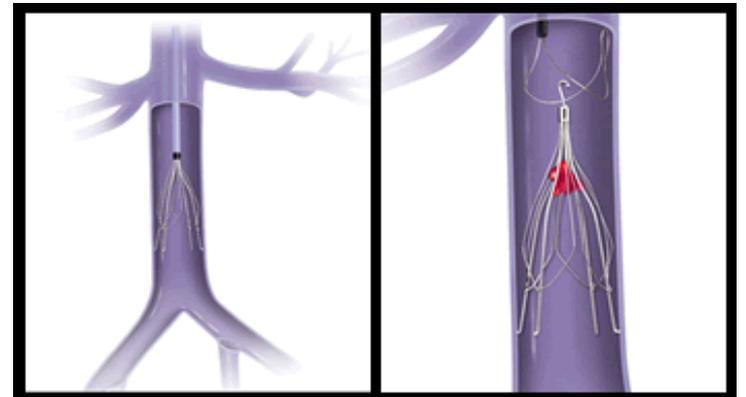
深部静脈血栓症の治療

・抗凝固療法

基本的な治療(内服薬)
2次的な血栓を予防する

・下大静脈フィルター (抗凝固療法ができない場合)

金属を太い静脈に入れて血栓が
上流に流れないようにする
(肺塞栓の予防)



・血栓溶解療法

カテーテルで血栓を溶かす治療

